



建設業の社会貢献活動事例

「大・仙・郷からの魅力発信『毎日が誇りまみれ。』 するために～TEAM 誇りまみれの挑戦～」 について

一般社団法人 秋田県仙北建設業協会

1. はじめに

事例に先立ちまして、6月末から7月上旬にかけて、西日本を中心に広い範囲での集中豪雨災害で亡くなられた方々、被災された方々に対し心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。そして、一日も早く復旧復興がなされることをお祈り申し上げます。

ちょうど一年前のこの時期に、我々の地域におきましても豪雨による災害を受けましたが、この度の豪雨災害は比べものにならないほど甚大です。日々、救助活動や復旧作業に当たっている方々に対し敬意を表する次第です。テレビ報道等で、災害のニュースを聞かない日は無い程、日本のどこかで常に災害が起きている昨今、このような時こそ我々建設業者の力が発揮される時ではないでしょうか。

この度の災害でも、東日本大震災においてもそうであったように、誰よりも真っ先に現場に駆け付け、ガレキを取り除き、救助救援活動のための道を開くのは我々建設業者です。災害時や冬の除雪、普段のインフラ整備もそうですが、街の暮らしを守り支えるのが我々建設業者です。我々は日々の使命感と誇りを持って仕事をしているはずです。こうした思いを若い人達にも共感してもらい、そして建設業界の担い手となってもらいたいとの想いから、この『毎日が誇りまみれ。』のプロジェクトが誕生いたしました。

全国各地で人手不足と言われておりますが、我が秋田県においては、人口減少率、高齢者比率が全国No.1です。この状況をどうにかしなければならないとの強い危機感からこのプロジェクトに着手となった次第であります。

2. 事業の取組み～着手

このプロジェクトに取組む“キッカケ”となつたのは、ある会員企業からの一言にありました…。「今度、うちの会社で新卒者を採用したいから就職説明会に参加するんだけど、会社の案内パンフレットはあるけど、建設業界そのものをPRするパンフレットって協会で作ってないの？」言われてみれば、秋田県の場合、各地区建設業協会が人材確保の分野においてはあまり積極的な事業展開をしておらず、広報活動に至っては皆無な現状がありました。

“この業界の魅力を伝えるにはどうすれば…”と考えていた矢先、思わぬ事業の話が舞い込んできました。平成27年度より、秋田県において『建設業担い手確保育成支援事業』の公募が開始される旨の話でした。これは、建設業団体において、建設業への就職が期待される若年者等を対象として、建設業の魅力を発信する活動を行うものでありました。

(具体例：就職希望者向け現場見学会等の開催、建設業の魅力を伝えるガイドブックの作成など)



各県建設業協会 幹部の皆様と意見交換



事業そのものは、幾つかに分かれており、その中の一つである、「建設業魅力発信事業」に応募し、当協会は無事に秋田県より事業委託を受ける事ができました。

この事業には、親協会が主導のもと、協会青年部（通称：建友会）が実際の事業作成に携わることになりました。知識や経験がまったく無いわけで、文字通りゼロからのスタートでありました。

早速、青年部役員を中心とした広報委員会のTEAMを立ち上げ、様々な角度から事業の検証を開始しました。前述の通り、事業経験が乏しい上、かつ、本事業が年度内での完成という限られた中での取組みであったため、そこで地方協会で特に活発な広報活動を展開している群馬県・宮城县・東京都の各建設業協会へ企画・構成等を学ぶため、視察に伺いました。

視察を終えて、様々な角度から事業検証した結果、当協会では、各県建設業協会が取り組んでいる広報周知活動、成果品を参考に、“地元”の高校生向けに“地域”的建設業をわかりやすく紹介したガイドブック・ポスター・リーフレットの3点を製作することに決定しました。

ガイドブックは建設業の“生の声”を通じて、業界の魅力をわかりやすく伝える内容の冊子で構成し、ポスター・リーフレットについては、シンプルかつインパクトのある“キャッチコピー”を目指して、外部有識者からの助言をもとに、様々な候補の

中から選定しました。

3. テーマ (WHAT)・ターゲット (WHO)・目的 (想い)

製作にあたっては、明確なコンセプトのもと、次の柱を主体にした構成内容で完成させました。

● テーマ (WHAT) ~毎日が誇りまみれ

地域の建設業は、道路や河川・農地などの整備、修復を続けることで地域のくらしを守っていること。また、人々の暮らしを守る建設業の現場には仕事への「誇り」が毎日に溢れていることを発信。

● ターゲット (WHO)

~地元就職を考える高校生

○地元管内である大仙・仙北管内の生徒を主なターゲットとする。

完成品ポスター

完成品リーフレット